

## 製品安全データシート

[混合物用(塗料用)]

[作成日] 改定日 2010年3月18日

## 1. 化学物質等および会社情報

製品名 セーフティーワルツ ネオデラック2020FF  
 ホルムアルデヒド放散等級区分F (O01219)  
 整理番号 G13-0026  
 会社名 大谷塗料株式会社  
 住所 大阪府大阪市東成区東中本3丁目1-18  
 担当部門 技術部 担当者 小泉 一胤  
 電話番号 06-6976-0254 FAX番号 06-6971-4901  
 緊急連絡先 06-6976-0254 電子メール waltz@otanipaint.com  
 製品の種類 一液型ウレタン樹脂塗料  
 用途 木工用

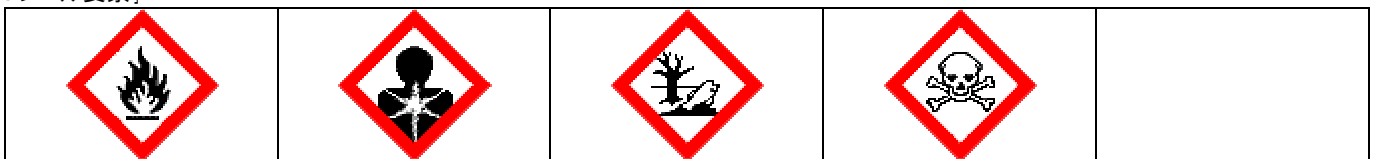
## 2. 危険有害性の要約

[GHS分類]

有害性項目	区分	注意喚起語	危険有害性情報
引火性液体	区分2	危険	引火性の高い液体及び蒸気
急性毒性(経口)	区分4	警告	飲み込むと有害
急性毒性(経皮)	区分外		
急性毒性(吸入:気体)	対象外		
急性毒性(吸入:蒸気)	区分3	危険	吸入すると有毒
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分4	警告	吸入すると有害
皮膚腐食性/刺激性	区分3	警告	軽度の皮膚刺激
目に対する重篤な損傷/目刺激	区分2B	警告	眼刺激
呼吸器感作性	分類できない		
皮膚感作性	分類できない		
生殖細胞変異原性	分類できない		
発ガン性	分類できない		
生殖毒性	分類できない		
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1,2,3	危険	臓器の障害 呼吸器への刺激のおそれ、眠気およびめまいのおそれ
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない		長期または反復暴露による臓器の障害
吸引性呼吸器有害性	区分1	危険	飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生環境急性有害性	区分2		水生生物に毒性
水生環境慢性有害性	区分2		長期的影響により水生生物に毒性

特定標的臓器は11.有害性情報を参照ください

[GHSラベル要素]



[注意書き]

[予防策]

- ・容器を密閉しておくこと。
- ・火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・防爆型の電気機器/換気扇/照明器具/工具を使用すること。
- ・取り扱い時には、飲食や喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
- ・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないように、換気装置を使用し暴露を避けること。
- ・取り扱い後は、手をよく洗うこと。
- ・(適切な処理を講じた以外は)環境への放出は避けること。

[応急処置]

- ・目に入った場合: 水で数分注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄すること。目の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。
- ・吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて、医師の診断を受けること。
- ・皮膚等に付着した場合: 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。

- ・火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用してください。
- ・塗料の付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまでは必ず水につけておいて下さい。
- ・漏出した場合：漏出物を回収すること。

## [保管]

- ・涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。
- ・子供の手の届かない所に保管して下さい。

## [廃棄]

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 3. 組成および成分情報

単一製品、混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名 : 一液型ウレタン樹脂塗料

成分名	CAS No.	含有量 (%)	ラベル表示対象物質	PRTR 情報	
				PRTR 法指定物質	物質番号
酢酸 n-ブチル	123-86-4	10 ~ 20		-	
メチルシクロヘキサン	108-87-2	10 ~ 20		-	

ラベル表示対象外の物質は「 - 」で表示しています。

## 4. 応急措置

## [目に入った場合]

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトを着用して容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・出来るだけ速く医師の診断を受けること。

## [皮膚に付着した場合]

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して、十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・直ちに全ての汚染された衣服を脱ぐこと。
- ・外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合には、医師の診断を受けること。

## [吸入した場合]

- ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。
- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所で安静にして医師の診断を受ける。

## [飲み込んだ場合]

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。

## 5. 火災時の措置

## [使用可能消化剤]

- ・水(×) ・炭酸ガス( ) ・泡( ) ・粉末( ) ・乾燥砂( ) ・その他( )

## [消化方法]

- ・適切な保護具(耐熱着衣など)を着用する。
- ・可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。
- ・水を消化に用いてはならない。
- ・消火活動は風上より行う。

## 6. 漏出時の措置

## [人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置]

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・付近の着火源、高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

## [環境に対する注意事項]

- ・河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。

## [封じ込めおよび浄化の方法、機材]

- ・漏出物は密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。
- ・火花が発生しない様に、プラスチック製の用具を用いて回収する。
- ・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量に流出には盛土で囲って流出を防止する。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

## [取り扱い上の注意]

- ・換気の良い場所で取り扱う。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- ・静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
- ・工具は火花防止型のものを使用する。
- ・作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。
- ・スプレーダストや製品が付着した布、紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。
- ・皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう、適切な保護具を着用する。
- ・取り扱い後は、手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- ・密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

## [保管上の注意]

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風のよいところに保管する。湿気を避けること。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。

## 8. 暴露防止および保護措置

## [組成物質管理濃度および許容濃度]

成分名	管理濃度	ACGIH(TLV)
酢酸 n-ブチル	150 ppm	150 ppm
メチルシクロヘキサン		400 ppm

## [設備対策]

- ・取り扱い設備は防爆型を使用する。
- ・排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- ・液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースをとるように設備すること。
- ・取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
- ・屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
- ・タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

## [保護具]

## [呼吸器の保護具]

- ・有機ガス用防毒マスクを着用する。
- ・密閉された場所では送気マスクを着用する。

## [手の保護具]

- ・有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

## [目の保護具]

- ・取り扱いには保護メガネを着用する。

## [皮膚および身体の保護具]

- ・取り扱い場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

## [その他の保護具]

- ・静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

## 9. 製品の物理的および化学的性質

## [物理的状态]

形状	液体	沸点	101～126
色	透明	蒸気圧	6,133 Pa (25 ) (メチルシクロヘキサン)
臭気	溶剤臭	密度(比重)	0.99
		pH値(水性のものに対して)	該当なし

## [危険性情報]

引火点	- 4 (メチルシクロヘキサン)	爆発限界(下限)	1.1% (メチルシクロヘキサン)
発火点	250 (メチルシクロヘキサン)	爆発限界(上限)	7.6% (酢酸 n - ブチル)

印の項目は文献値(社団法人日本塗料工業会原材料物質データベース)より引用

## 10. 安定性および反応性

## [安定性]

:条件(温度、光) 安定

## [接触により危険性のある物質]

:知見なし

## [燃焼による有毒性ガスの発生]

:一酸化炭素、窒素酸化物など

## [その他の反応性情報]

:知見なし

## 11. 有害性情報

成分名	急性毒性					皮膚腐食性 / 刺激性	目に対する重篤な 損傷 / 目刺激
	経口	経皮	吸入: 気体	吸入: 蒸気	吸入: 粉塵・ミスト		
酢酸 n-ブチル	区分外	区分外	対象外	区分 3	区分 4	区分 3	区分 2B
メチルシクロヘキサン	区分 4	区分外	対象外	区分外	不能	区分 3	区分 2B

成分名	呼吸器感受性	皮膚感受性	生殖細胞 変異原性	発ガン性	生殖毒性
酢酸 n-ブチル	区分外	不能	不能	不能	区分外
メチルシクロヘキサン	不能	不能	不能	不能	不能

成分名	特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)	特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸器 有害性
酢酸 n-ブチル	区分 1(中枢神経系)、区分 2(肺)、 区分 3(気道刺激性)	不能	不能
メチルシクロヘキサン	区分 3(麻酔作用)	不能	区分 1

不能 = 分類できない 対象外 = 分類対象外

## 12. 環境情報

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄液が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
- ・製品としての、生態毒性、残留性・分解性、生態蓄積性、土壤中の移動性のデータはなし。

## 13. 廃棄上の注意

- ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
- ・空容器は、内容物を完全に除去してから処分する。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行なうか、委託をすること。

## 14. 輸送上の注意

[国連番号] 1263

[指針番号] 128

- [共通] ・取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。  
 ・容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- [陸上輸送] ・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。  
 ・荷送り人は、運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。
- [海上輸送] ・船舶安全法に定めるところに従うこと。
- [航空輸送] ・航空法の定めるところに従うこと。

## 15. 適用法令

[消防法] : 危険物第4類 第1石油類(非水溶性)

[毒物および劇物取締法] : 該当しない

[労働安全衛生法] : 危険物(引火性のもの)

[有機溶剤中毒予防規則] : 第2種有機溶剤

## 16. その他の情報

- ・記載内容は現時点で入手できる資料、資料、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証値をなすものではありません。
- ・当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。